



を

「物」の先には「事」がある。事の先には「つながり」がある。

あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこにでも捨てられるから。

そんな社会と暮らしが、本当に望んだものなのか、快適なのか。

疑おう。それには、きちんとして、わかりやすく一流の物差しがいる。

その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的がいい。

みんなに共通で、しかも変わることがないから。日本人なら毎日の生活の中で使いこなせるから。

大切にしよう新聞

2018.1
JANUARY



を食す幸せ

海に囲まれた日本だから
今月もどこかで旬三昧



毎年11月下旬頃、氷見(ひみ)漁港に一定の条件を満たすブリが水揚げされるようになると「ひみ寒ぶり宣言」が出され(例年2月頃「ひみ寒ぶり終了宣言」も出されます)、氷見漁港で競り落とされるひみの寒ブリは最高級商標ブランド「ひみ寒ぶり」として出荷されます。「ひみ寒ぶり」に認定されたブリは一本に一枚、販売証明書が発行され、貼ると二度と使えない証明書を魚体に貼り、専用の青箱に入れて各地へ。「ひみの寒ぶり」が日本一ウマイと言われるのには理由が。九州付近で産卵された日本海のぶりは、春から夏にかけて暖流に乗って北上し、成長しながら北海道付近まで来遊。

そして晩秋から初冬にかけて南下し、北の日本海で身が引き締まったブリは産卵をひかえて最も脂がのった状態で富山湾へ。「天然のいけす」富山湾で最大の大陸棚が広がる氷見沖では、越中式定置網で漁が行われ、鮮度が高い状態で水揚げする事ができる港「氷見漁港」に運ばれます。ブリが最もウマイ時期に、最もウマイ状態で水揚げできる条件が揃う「ひみの寒ぶり」。日本一ウマイとされるのにも納得です。

みんなで囲みたい「ぶりしゃぶ」



締めはもちもちした食感と粘りがクセになりそうな「氷見うどん」で。

「住まいのこんなところ“もったいない”と思いませんか？」

豊かさがごく普通になった時代。いろんな物が手軽に買えるようになったけど、「もったいない」「物を大切にしよう」という想いは忘れたくない。そんな想いを住まいにあてはめてみたら…。

「大きなリビングを使いこなさないとってもったいない」

住まいを建てる時リビングを広くしてほしいと望むユーザーは多い。特に何をしたいのかが明確でない方もとにかくリビングは広く広くと要望する。

案外、住み始めると広くとったリビングが閑散としてしまう家も多いのだが、広いリビングには何かしらの憧れがあるのだろう。

通常、リビングにはソファやTVが置かれることが多い。住まいの最も環境の良い場所でもあるので、ソファでくつろぎながら映画を観たりスポーツ観戦ができたりすると、充実した休日の午後が手に入る。

そんなイメージでリビングを広くしたい方も多いのと思うが、それってお父さんだけが満喫できるリビングになってませんか？

家族団らんを夢見てリビングを広くしたいと考えるユーザーもいらっしゃるのですが、家族団らんのシーンをちょっとイメージしてみると、案外炬燵でミカンとか、家族で鍋をつつくとかだったりしませんか。

さらに家族団らんに最も適している広さは4畳半と言っている方もいらっしゃるほど、狭いほうが家族のコミュニケーションをとりやすいのかも。



では、広いリビングでは何をやる？



お勧めは家族が好き勝手なことをしながらひとつの部屋に集まる場所。

お母さんはネットでブログの書込みをし、お父さんは好きな雑誌をソファに寝っ転がって眺め、お兄ちゃんはおTVゲームを大画面で楽しみ、お姉ちゃんはお母さんと一緒にネットを楽しむ。それぞれが干渉しない距離や空間を確保するためにリビングの広さが必要なんです。

中途半端な広さのリビングだと、家族それぞれに個室にこもりがちになるところを、広いリビングが家族のコミュニケーションを育むのでは。



偉人たちは「物」となって 未来永劫、愛される。

銅像や石像は名所だからあるのか、
有名だからあるのか、
いやその精神を引き継ぐから、あるのである。

二宮尊徳 (二宮金次郎)像



ご存知ですよね、働きながら勉学に励んで世のため人のために尽くした二宮尊徳。この銅像の第一のアピールポイントは、昔から薪を背負い、歩きながら本を読む。その勤労・勤勉の象徴としてお馴染みでしたが、実は今ではその数の多さがアピールポイントに。日本にある銅像数のランキングを調べると第3位「松尾芭蕉」、第2位「坂本龍馬」、そして堂々のトップが「二宮尊徳」なのです。(銅像数ランキングで検索) なんととっても日本全国の小中学校に設置され、その数なんと1000体以上とも言われ、銅像設置ランキングではぶっちぎりの1位です。

しかし、時代は変わり、この勉学スタイルが問題に!

栃木県の「二宮尊徳資料館」によると、児童が像の真似をすると交通安全上の問題があるため、次第に「座って本を読む金次郎」タイプの像が増えてきたらしいのです。



昨今は歩きスマホの危険性などが問題視される中、学校でも生徒に『ながら行動』をしないように指導とか。こうした時流を考え、本を読みながら歩く金次郎の像よりも、座像の方が適切という風潮に。

像は語る:二宮尊徳翁から一言

勤勉、質素儉約のイメージがつかまとう彼ですが、意外にも人間の「欲」についてはそれを肯定。もっといい物を食べたい、もっと良い生活をしたい、そう願うのは人として当然であり、そうした欲が自分の生活をより良いものにし、世の中を良くする原動力であると。しかし、そのような「欲」が果てしなく暴走するのはいかん、というのが彼の教えです。詳しくは彼の弟子によってまとめられた「二宮翁夜話」を。

多彩に花咲いていた 戦後昭和のファッション・メモリアル



ファッションの流れをたどれば「ああ、懐かしい」という感慨だけでなく、それはあなたのオシャレの足跡にぴったり合致するかも。「衣装はおんなの命」。思い出のお洋服や小物たちを、いつまでもあなたのお傍に。

ファッションばかりか小物やインテリアなどにすっかりおなじみになったブランド。その走りがクリスチャン・ディオールでした。



昭和30年(1955年)クリスチャン・ディオールが、パリコレクションで発表したシルエットがAライン。肩のあたりが小さく、肩から裾に向かって広がっていくスタイルで、そのシルエットがアルファベットの大文字のAを彷彿させるのが特徴。



このことからAラインは、洋服を着たときの外側のラインを表す言葉として用いられるようになりました。スカートを極端にふくらませる落下傘スタイルが、流行の最先端として東京・銀座の街並みをさわやかフレッシュに彩りました。



ビートルズが教えてくれた

1960年にザ・ビートルズ結成、1962年10月5日レコードデビュー。1970年4月10日に事実上解散。10年にも満たない活動の中でその輝きは今も色褪せないのはなぜだろう。このコーナーでは代表曲の詩を読む事で、その意味を少しでも探れればと、ご紹介。



1963年3月、寿屋がサントリーと社名変更した時に、ファーストアルバム **Please Please Me** リリース。

Please Please Me

昨夜、ついに彼女に言ってやったんだ
やってみようもしないんだねって
ねえ、ちょっとやってみせてよ
僕のことを喜ばせてみせて
いつも僕がきみを喜ばせるように

いつも見ているからわかるでしょう?
なのにどうして毎回教えてあげなくちゃいけないのさ
ねえ、ちょっとやってみせてよ
さあ頼むから、僕のことを喜ばせてみせて
いつも僕がきみを喜ばせるように

ぜひ youtube で聴きながら・・・
<https://www.youtube.com/watch?v=l-rd780U-m8>



懐かしくて、温かい。



身近にある木、土、紙を主な材料に、健気に生きる人々が切実な願いや想いを、自然や動物などの形に託した郷土玩具たち。土地柄や人柄、素朴さ、気迫、神秘性、郷愁、愛嬌もにじみ出て、どれもが風土に密接に結びつきながら、暮らす人の心根までもが佇まいに浮かんでいきます。

そんな魅力に敏感なのは日本に住む外国人たち。住まいや暮らしを彩るワンポイントに、さり気なく飾っています。あなたもこれをきっかけに郷土玩具に心を傾け、手にとり、「室礼」のアイテムにいかがですか。



六原 張り子 福犬

来年の干支は「戌」。おめでたいお正月の室礼にぴったりなのが、この『福犬』。お多福の面をつけた戌は、たくさんの福を運んでくれそうです。

岩手県花巻市産の手漉き「成島和紙」を使い、独特の裏張りの技法で、一枚一枚張り重ねて製作されています。

じわじわ人気上昇中！ ほうじ茶は緑茶以上に優秀？ ダイエット・美容・健康に効果的！

香ばしい薫り



「カテキン」のダイエット効果

ポリフェノール的一种でもあるこの「カテキン」には、食事によっておこる血糖値の上昇を抑える効果が備わっており、血糖値の上昇によって起こる脂肪のため込み防止にその効果を発揮。食事前などに飲むことを心掛けるだけで太るリスクを下げるとともに、ダイエットの手助けにもなってくれます。

▼お問い合わせは・・・



あすの街づくりを創造する
株式会社 アービック建設

〒272-0034 千葉県市川市市川1-23-9 4F

＼ 施工事例 多数掲載！ ／

アービック建設 リフォーム

 **0120-253-949**

9:00~18:00

アービックグループは、「暮らしのことならなんでもご相談いただける」住生活総合企業として、賃貸、売買、新築などの不動産業を展開しています。リニューアル営業部では、リフォームの提案から施工管理まで行っています。工事に関することもお気軽におたずねください。